

研究機関名：東北大学

受付番号：2013-1-335
研究課題名 ゲノム解析による神経疾患遺伝子の同定とオーダーメイド医療の確立に関する研究
研究期間 西暦 2013 年 11 月（倫理委員会承認後）～2015 年 3 月
対象試料 <input type="checkbox"/> 病理試料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検試料（対象臓器名） <input checked="" type="checkbox"/> 血液試料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（DNA）
上記試料の採取期間 西暦 2007 年 12 月～2012 年 11 月
意義、目的 パーキンソン病はアルツハイマー病に次いで頻度が高く、わが国の有病率は 10 万に約 100 名と推定され、高齢化社会が進むにつれてさらに増加する様相を示しています。パーキンソン病の原因は長らく不明でしたが、家族性の一部に原因遺伝子が同定されました。しかしながら、大部分を占める孤発例では未だ原因はわかっていません。本研究では、孤発性パーキンソン病のゲノム解析を行うことによって疾患遺伝子を発見し、病態の解明や新しい治療法の確立を行うことを目標としています。また、ある症状が出現しやすい遺伝要因や薬の効き目の違い・薬の副作用予測のマーカーとなる遺伝要因を調べます。これらにより、患者個人に対する最適な治療（オーダーメイド医療）による治療成績の向上を目指し、さらに画期的な新薬の開発に着手することも目標としています。
方法（他の研究機関に試料・情報を提供する場合は、その旨も記載してください） 課題名「パーキンソン病ならびにパーキンソン症候群における発症リスク遺伝子と薬剤感受性遺伝子多型性の検討」で採取し、将来のヒトゲノム・遺伝子解析研究にも使用されることに同意している試料を対象とします。既に連結可能匿名化(後述)してある血液や DNA 試料を神戸大学大学院医学研究科神経内科学/分子脳科学に提供し、超高速シーケンサー等の最新のゲノム技術を用いて全エクソン配列決定や全ゲノム配列決定等を行います。「連結可能匿名化」とは、あなたとこの符号とを結びつける対応表をつくり、その対応表を個人情報管理者および分担管理者が厳重に保管する方法です。こうすることによって、あなたの遺伝子の解析を行う者には符号しか分からず、誰の試料を解析しているのか分かりません。ただし、遺伝子解析結果をあなたに説明する場合には、対応表に照らしてこの符号を元どおりに戻します。
問い合わせ等の窓口 神経内科医師 菊池昭夫（医局：022-717-7189）